



Can-do目標	課題・タスク	テーマ・トピック例	ジャンル	Can-do目標細目								
				言語			理解					
				結束性	文構成	スタイル	情報取り		情報整理	理解再生		
初級1	● ゆっくりはっきりと話されれば、時間や曜日、出身や専門などごく身近なトピックに関する短い話が理解できる。 ● ゆっくりはっきりと話されれば、宿題や教室活動に関する簡単な指示や説明が理解できる。	1分程度の会話や説明を聞いて、内容に関する質問に答える。	自己紹介、私の一日、私の家族	会話・スピーチ・教師の指示	【接続表現】 ・「そして」「それから」などの接続表現を手がかりにして、出来事の順序がわかる。	【文構成】 ・語や助詞の省略のない単文が理解できる。	【フォーマリティ】 ・「です・ます」体の会話や短いスピーチが理解できる。	【内容理解】 ・いつ、どこで、だれが、何をやる・したか(4W)が理解できる。	【表現意図】 ・言語形式やイントネーションから、相手の発話が叙述(説明)、質問、指示のいずれであるか区別できる。		【内容再生】 ・聞き取った内容についての質問に口頭で答えられる。 ・聞き取った内容を直接引用・間接引用の形で伝聞できる。	
初級2	● はっきりと話されれば、大学生活や日本の習慣など身近な生活場面に関する話が理解できる。 ● はっきりと話されれば、授業や学校行事など大学生活に関する簡単な指示や説明が理解できる。	1～2分の会話や説明を聞いて、内容に関する質問に答える。	授業の取り方、日本の結婚式、スピーチコンテストのお知らせ	会話・スピーチ・教師の指示	【接続表現】 ・「それで」「だから」「～から」「～ために」などの接続表現を手がかりにして、理由や目的がわかる。	【文構成】 ・語や助詞の省略のない、意味関係が単純な複文が理解できる。	【フォーマリティ】 ・「です・ます」体の会話や短いスピーチが理解できる。	【内容理解】 ・いつ、どこで、だれが、何を、どう、なぜする・したか(5W1H)が理解できる。	【表現意図】 ・直接的な表現であれば、依頼や誘い、断りが理解できる。		【内容再生】 ・メモをもとに、表や短文を完成させられる。	
中級1	● 日常的な表現を使って話されれば、日本文化の特徴や社会問題など身近な社会・文化的なトピックに関する話が理解できる。 ● 日常的な表現を使って話されれば、語の省略が多少あっても、大学生活や社会生活に必要な指示や説明が理解できる。	2～3分の会話や説明を聞いて、内容に関する質問に答える。	日本の地方都市、プラスチックごみ、信号の話	会話・スピーチ・解説(書き下ろし)・インタビュー	【接続表現】 ・「まず」「次に」「最後に」などの接続表現を手がかりにして、物事の順序や手順がわかる。	【文構成】 ・語や助詞の省略がある文(「レポート書いた?」や定型の言い差し(「～はちょっと…」)を含む文が理解できる。	【フォーマリティ】 ・単純な縮約形(「～てる」「～ちゃう」)や普通体での質問(「～した?」「～なの?」)を含むカジュアルな会話が理解できる。 ・単純な敬語表現(いらっしゃる、いただきます)や、定型の敬語表現(～していただけませんか、ご～ください)を含む会話が理解できる。	【内容理解】 ・物事の順序や手順が理解できる。 ・話し手の主張とその理由が理解できる。	【表現意図】 ・多少間接的な表現であっても、依頼や誘い、断りといった発話の機能がわかる。 ・明確に表明されれば、賛成か反対かといった話し手の意見・立場が理解できる。	【視覚情報の活用】 ・写真や単純な図表を理解の補助として活用できる。	【ノートテーキング】 ・母語や日本語で単語や短いフレーズを書き取ることができる。	【内容再生】 ・メモをもとに、表やシジュメを完成させられる。
中級2	● 構成や展開がはっきり示されれば、日本の文化や歴史など社会・文化的なトピックに関する一般教養的な話が理解できる。 ● 話が具体的に展開が予測しやすい場面であれば、語の省略や倒置があっても、大学生活や社会生活に必要な指示や説明が理解できる。	3～5分の会話や解説を聞いて、内容に関する質問に答える。また、談話の構成を把握し、要約を書く。	東京の温泉、隠れキリシタン、冷凍の技術	会話・解説(書き下ろし)・口頭発表・表・インタビュー	【接続表現】 ・「その結果」「そのために」「そこで」などの接続表現を手がかりにして、物事の因果関係がわかる。	【文構成】 ・語や助詞の省略、倒置を含んだ文や言い差しを含む文が理解できる。	【フォーマリティ】 ・様々な縮約形(「～とく」「～ちゃう」「～って」)や普通体での質問(「～んじゃない?」「～んじゃないの?」)を含むカジュアルな会話が理解できる。 ・様々な敬語表現(特に尊敬を表す表現)を含む会話が理解できる。	【内容理解】 ・用語の定義・分類や物事の単純な因果関係が理解できる。 ・話し手の意見とその理由がわかる。	【表現意図】 ・間接的な表現であっても、依頼や誘い、断りといった発話の機能がわかる。 ・多少婉曲的な表現であっても、賛成か反対か話し手の意見・立場が理解できる。	【視覚情報の活用】 ・単純な図表や文字情報の少ないスライド資料を理解の補助として活用できる。	【ノートテーキング】 ・母語や日本語で単語や短い文を書き取ることができる。	【内容再生】 ・内容を確認する質問に、文章で答えることができる。 ・メモをもとに、話のアウトラインや要約が書ける。
中上級	● 構成や展開がはっきり示されれば、社会問題や環境問題など時事的なトピックに関する話が理解できる。 ● 話が具体的に展開が予測しやすい場面であれば、多少婉曲的な表現であっても、相手の意図が理解できる。	5分程度の解説を聞いて、内容に関する質問に答える。また、談話の構成を把握し、要約を書く。	人間が長生きな理由、日本人と掃除、ものづくりと熟練の技術	解説(書き下ろし)・口頭発表・討論	【接続表現】 ・「とところ」「それに対して」「すると」などの接続表現を手がかりにして、話の展開と帰結がわかる。		【フォーマリティ】 ・解説や討論におけるフォーマリティのレベルの差が聞いてわかる。	【内容理解】 ・現象・物事の因果関係や話の結末が理解できる。 ・話し手の主張と根拠が理解できる。	【表現意図】 ・多少婉曲的、暗示的な表現であっても、肯定的か否定的か、好意的か非好意的かという話し手の評価が理解できる。	【視覚情報の活用】 ・情報の統制がなされた図表やスライド資料、シジュメなどを理解の補助として活用できる。	【ノートテーキング】 ・ほぼ日本語で、話の流れに沿ってノートを取ることができる。	【内容再生】 ・メモをもとに、話のアウトラインや要約が書ける。
上級1	● 構成や展開が予測しやすい内容であれば、政治・経済や国際関係など時事的、やや専門的なトピックに関する話が理解できる。 ● 話が具体的に展開が予測しやすい場面であれば、婉曲的な表現や比喩的な表現であっても、相手の意図が理解できる。	5～10分の解説を聞いて、内容に関する質問に答える。また、談話の構成を把握し、要約を書く。	開発途上国支援、南極、あいつち	解説(書き下ろし)・口頭発表・ミニ講義・ニュース(生)・討論	【接続表現】 ・「したがって」「その一方で」などの接続表現や「～が」「～けど」などの前置き表現を手がかりにして、物事の論理関係や話の帰結がわかる。		【フォーマリティ】 ・解説や討論におけるフォーマリティのレベルの差が聞いてわかる。	【内容理解】 ・現象・物事の仕組みや因果関係、歴史的経緯が理解できる。 ・話し手の主張と根拠が理解できる。	【表現意図】 ・母語話者の自然発話に見られる婉曲的、暗示的な表現であっても、相手の発話の意図が理解できる。	【視覚情報の活用】 ・多少複雑な図表や概念図を含むスライド資料やシジュメなどを理解の補助として活用できる。	【ノートテーキング】 ・やや長い話でも、ほぼ日本語だけで、内容を再生できるようなノートを取ることができる。	【内容再生】 ・メモをもとに、話のアウトラインや要約が書ける。
上級2	● 明瞭に話されれば、ニュースや、やや専門的な講義が理解できる。 ● 明瞭に話されれば、事柄の関係性や展開がわかりにくい話であっても、相手の主張や意図が理解できる。	5～10分の解説を聞いて、内容に関する質問に答えたり、要約を書いたりする。また、報道番組のニュースを聞いて、その概要を報告する。	ハイオミミク、人はなぜ化粧をするのか、江戸の数学	解説(書き下ろし)・口頭発表・ミニ講義・ニュース(生)・討論	【接続表現】 ・多様な接続表現や前置き表現を手がかりにして、物事の複雑な論理関係や話の帰結がわかる。		【フォーマリティ】 ・解説や討論におけるフォーマリティのレベルの差が聞いてわかる。	【内容理解】 ・現象・物事の複雑な仕組みや因果関係、歴史的経緯が理解できる。 ・話し手の主張と根拠が理解できる。	【表現意図】 ・言いよみや陳述の副詞、フィラーなどから、物事に対する話し手の評価が理解できる。	【視覚情報の活用】 ・複雑な図表や概念図を含むスライド資料やシジュメ、統計資料などを理解の補助として活用できる。	【ノートテーキング】 ・長く複雑な展開を持つ話でも、ほぼ日本語だけで、内容を再生できるようなノートを取ることができる。	【内容再生】 ・メモをもとに話のアウトラインや要約が書ける。 ・聞いた内容を自分の言葉で再生することができる。
超級	● 多少不明瞭な発音であっても、報道番組や専門的な講義が細部まで理解できる。 ● 事柄の関係性や展開がわかりにくい話であっても、相手の主張や意図を微妙な言葉のニュアンスまで汲み取って理解できる。	専門の講義や報道番組の解説を聞いて、その概要をまとめたり、その話題についてディスカッションしたりする。	学部の概論・専門科目の講義、TVの報道番組・対談番組	講義・口頭発表・ニュース(生)・討論・TV対談(生)	【接続表現】 ・多様な接続表現や前置き表現を手がかりにして、物事の複雑な論理関係や話の帰結が容易にわかる。		【フォーマリティ】 ・解説や討論におけるフォーマリティのレベルの差が聞いてわかる。	【内容理解】 ・現象・物事の複雑な仕組みや因果関係、歴史的経緯が容易に理解できる。 ・話し手の主張と根拠が理解できる。	【表現意図】 ・言いよみや陳述の副詞、フィラーなどから、話し手の真意が理解できる。	【視覚情報の活用】 ・新聞記事や統計資料、専門書のコピーなどの文献資料を理解の補助として活用できる。	【ノートテーキング】 ・長く複雑な展開を持つ話でも、日本語だけでなく、内容を再生できるようなノートを取ることができる。	【内容再生】 ・聞いた内容を自分の言葉で再生することができる。

全レベル共通目標	<p>【①大意把握】 【②情報の取捨選択】 【③キーワード把握】 【④既得知識の活用】 【⑤談話展開指標の活用】 【⑥非言語情報の活用】 【⑦理解の表出】 【⑧意見の表明】 【⑨態度(意欲)】</p> <p>▼未知語や聞き取れない表現などにとらわれずに、話の主題や要点、大意が理解できる。 ▼重要な情報とそうでない情報を聞き分けて、適切な情報の取捨選択ができる。 ▼話のキーワードが的確に聞き取れる。 ▼既得の知識を活用して、話の内容や展開を予測しながら聞ける。 ▼接続表現や前置き、注釈表現など、談話展開の指標となる表現を手がかりに、話の内容や構成が理解できる。 ▼ジェスチャーや表情などの非言語情報を手がかりに、話の内容や話し手の意図が理解できる。 ▼聞き取った内容の再生や要約ができる。 ▼聞き取った内容について、自分の意見や感想が述べられる。 ▼途中で投げ出さずに、最後まで集中して聞ける。</p>
----------	---